

# 2005年3月期 決算説明会

2005年5月19日



株式会社

**ツガミ**

<http://www.tsugami.co.jp>

(証券コード: 6101)

PRECISION TSUGAMI

- 2005年3月期決算概要並びに今後の見通し・・・P 2～P11
- ツガミ・グループの今後の事業展開 ……………P12～P19

# ● 2005年3月期決算概要並びに今後の見通し

## ● ツガミ・グループの今後の事業展開

# 連結通期決算概要

(単位:億円、%)

	03年度			04年度			05年度		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	82	118	200	124	126	250	135	135	270
売上総利益	15	22	37	31	31	62	32	31	63
(原価率)	82.1%	81.4%	81.8%	75.0%	75.4%	75.2%	76.0%	76.5%	76.5%
営業利益	2	9	11	16	17	33	18	17	35
経常利益	3	10	13	17	19	35	19	18	37
当期純利益	1	10	9	16	12	28	32	10	42

## 04年度実績について

堅調な市況に支えられ+25%の増収。  
グループの再編など更なる経営の効率化を推進。  
原材料の高騰する中 徹底的に効率化コストダウンを推進。  
期初予想を上回る増益計上。

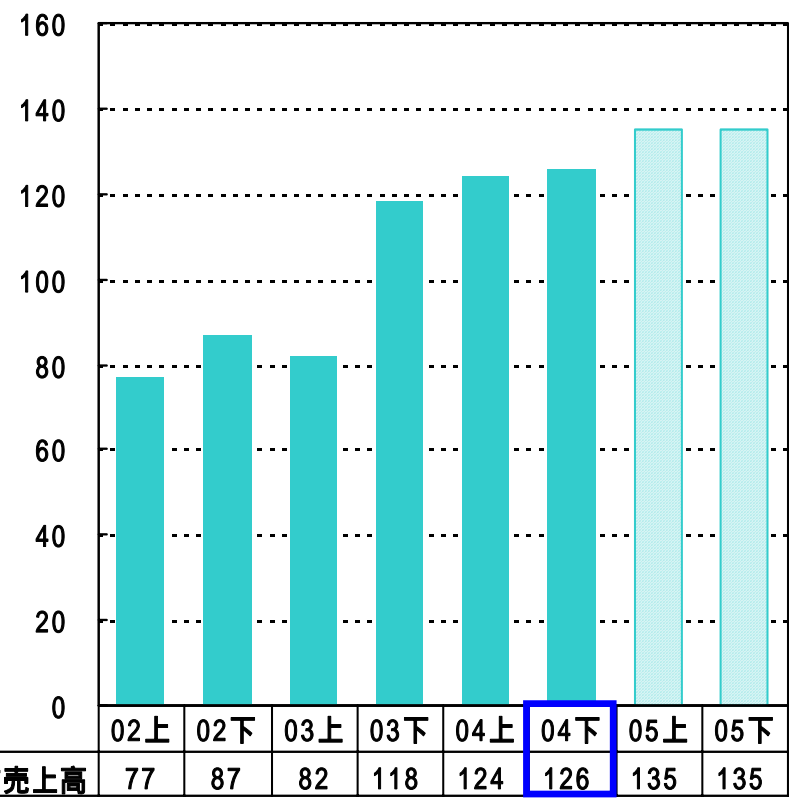
## 05年度見通しについて

堅調な受注実績より増収確保見込。  
収益面は原材料の値上りの影響もあり、若干利益率悪化見込。  
生産体制の再構築に伴う 特別利益 約24億円計上 (信州工場の土地一部譲渡)、除却損等 特別損失 約6.8億円計上予定。(上期)

# 半期ベースの推移

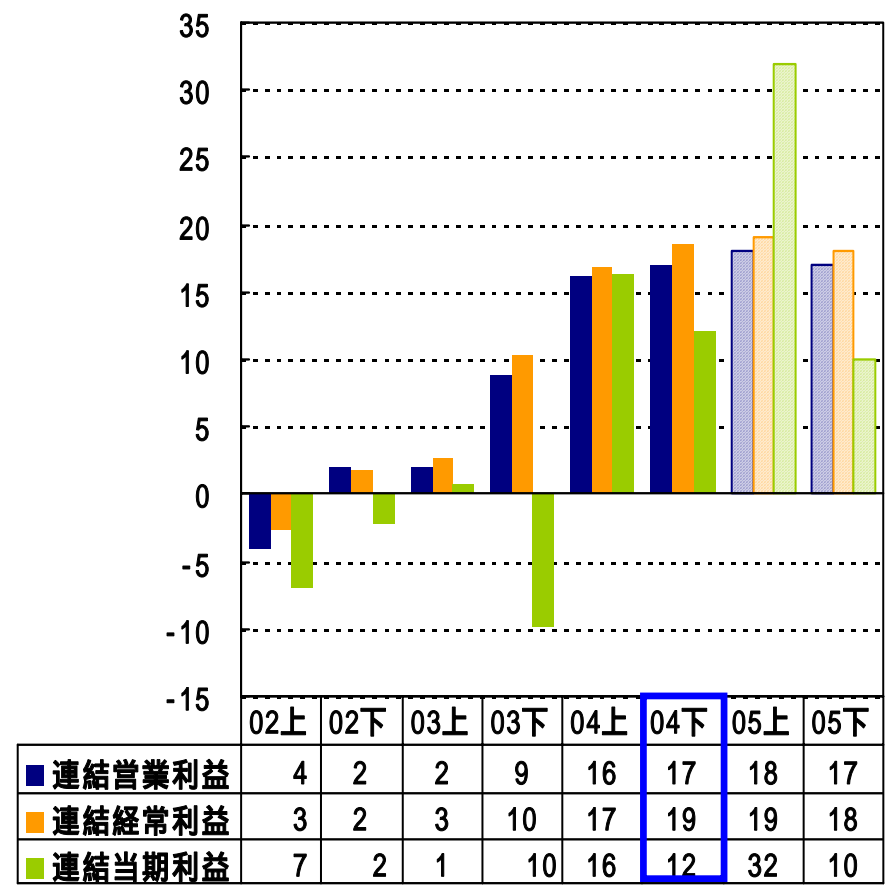
## 売上高

(億円)



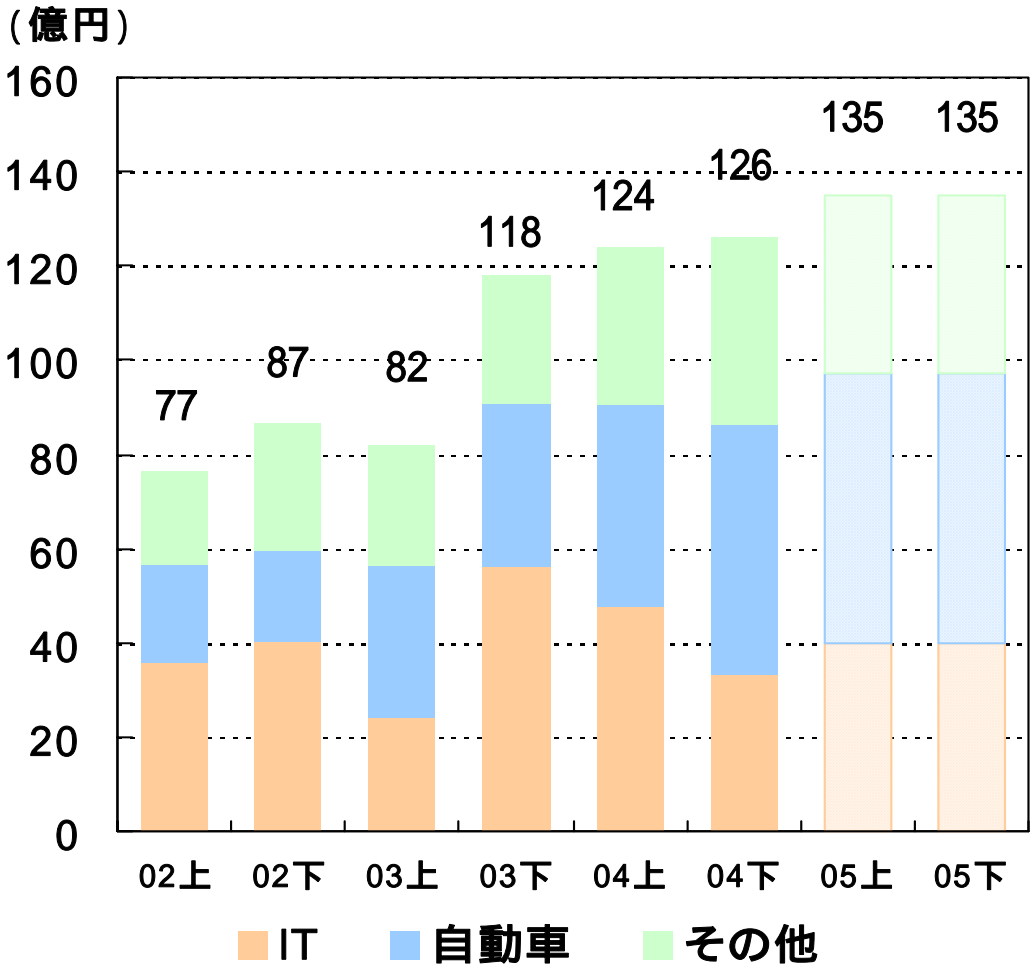
## 利益

(億円)



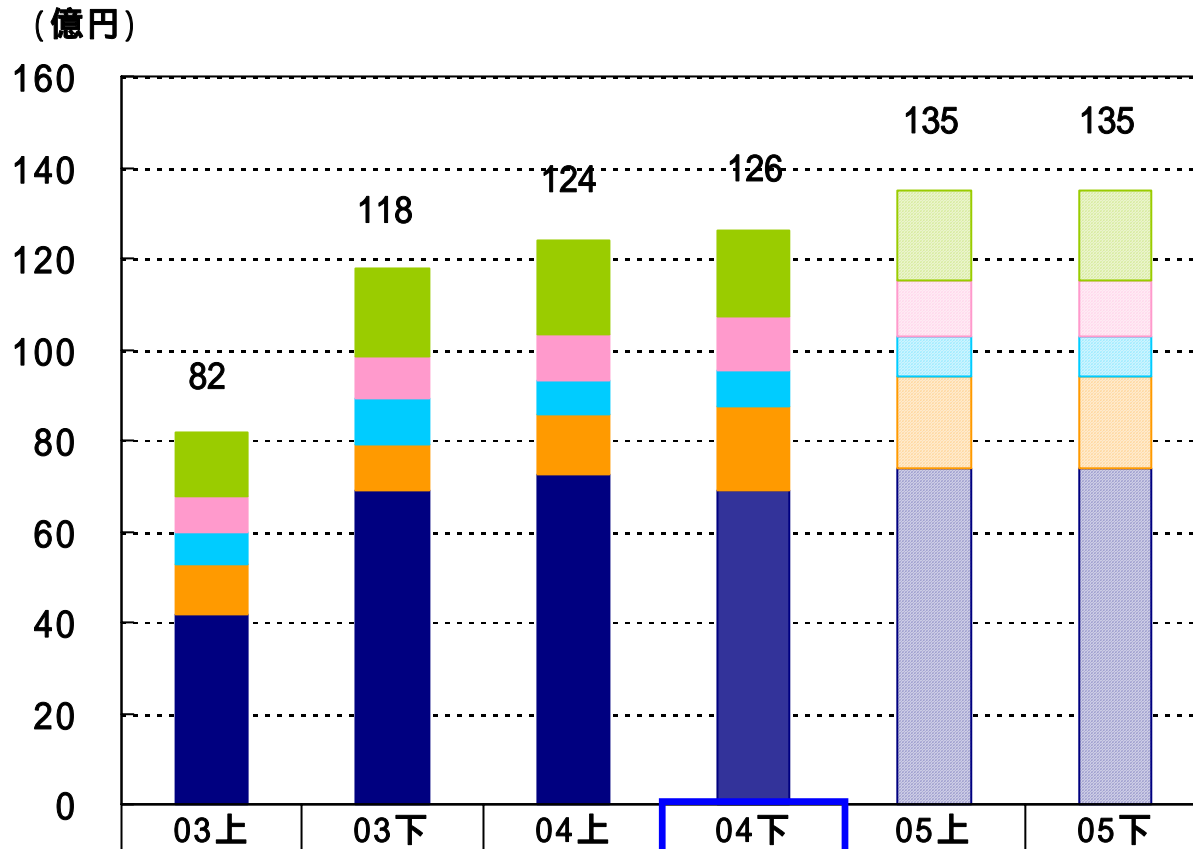
# 業種別売上高推移：自動車向け等の売上が堅調

業種別売上高・半期ベース



自動車のIT化進む中、自動車向け製品の需要が高水準  
IT向けは伸び悩むも 05年以降回復見込み

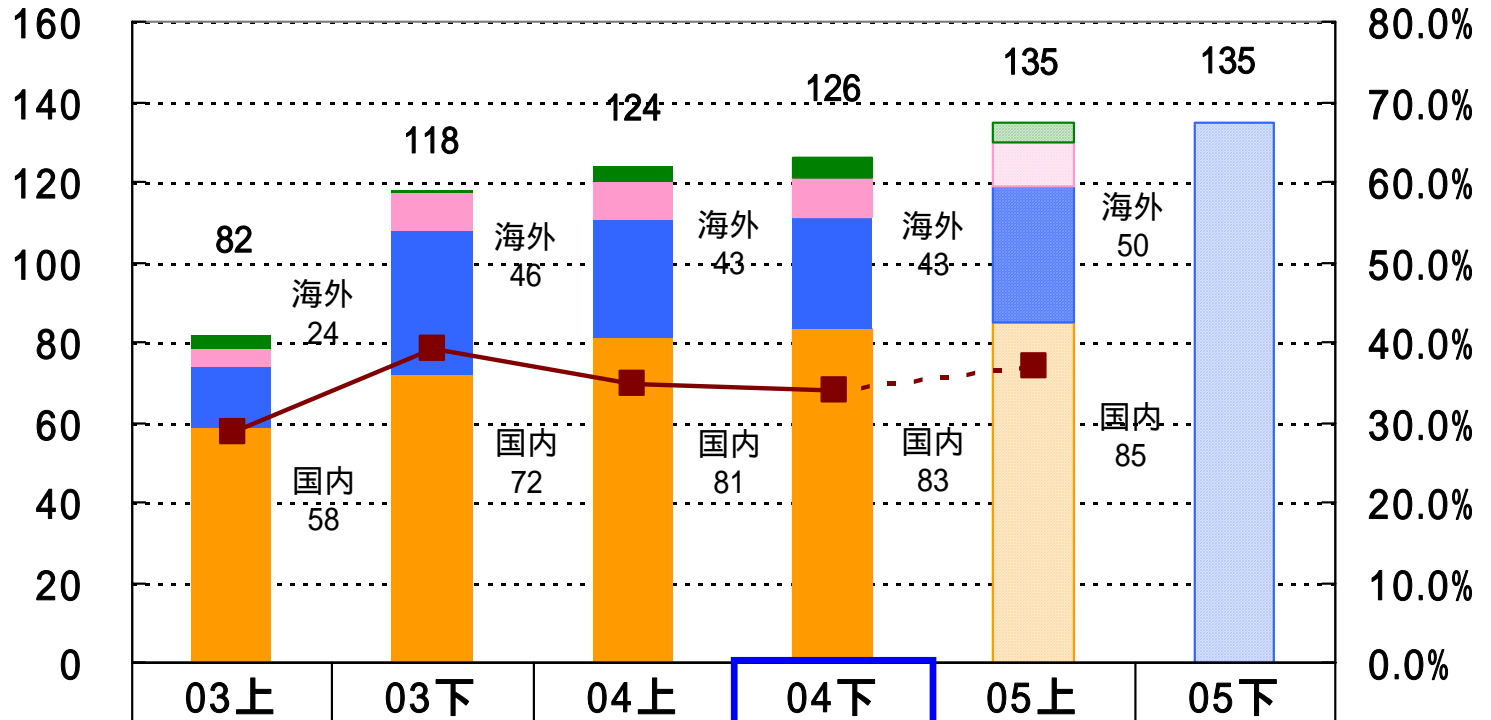
# 機種別売上高予想



■ 専用機その他の事業	14	20	21	19	20	20
■ 転造盤その他	8	9	10	12	12	12
■ マシニングセンタ	7	10	8	8	9	9
■ 研削盤	11	10	13	18	20	20
■ 自動旋盤	42	69	73	69	74	74

# 地域別売上高予想

(億円)

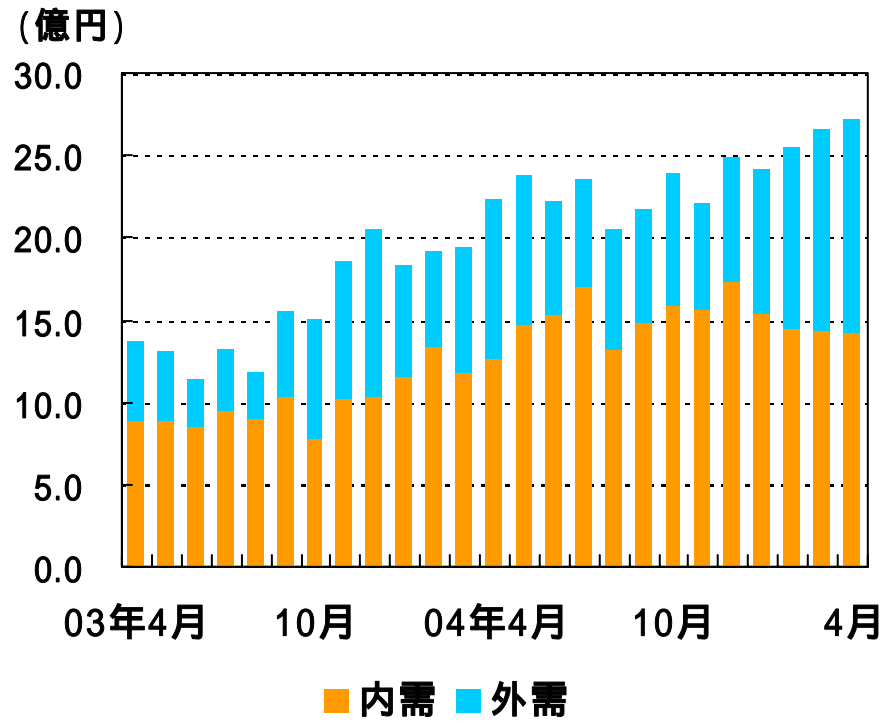


■ ヨーロッパ	3	1	4	5	5	135
■ 米国	4	9	9	10	11	
■ アジア	16	36	30	28	34	
■ 国内	58	72	81	83	85	
■ 輸出比率	28.7%	39.1%	34.7%	34.0%	37.0%	-

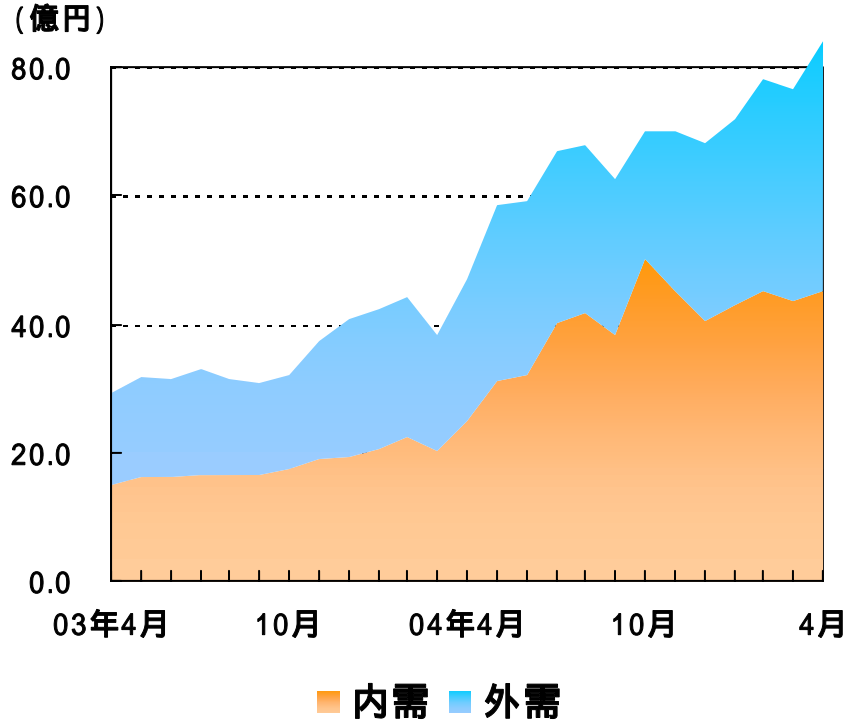


# 受注状況

受注



受注残



**受注状況は引き続き堅調**  
**自動車向けは依然高水準 IT向け受注も回復傾向**

# 連結貸借対照表

(単位:億円)

	03 / 3	04 / 3	05 / 3		03 / 3	04 / 3	05 / 3
<b>流動資産</b>	181	180	205	<b>流動負債</b>	64	65	76
現預金	18	22	42	支払手形・買掛金	42	55	65
受取手形・売掛金	83	103	105	短期借入金	14	-	-
たな卸資産	80	54	58	その他	8	10	11
<b>固定資産</b>	80	71	70	<b>固定負債</b>	7	9	9
有形固定資産	63	52	48	<b>負債合計</b>	71	74	86
投資その他	17	19	22	<b>資本金・資本剰余金</b>	191	188	216
				<b>自己株式</b>	2	12	26
				<b>資本合計</b>	189	177	190
<b>資産合計</b>	261	251	275	<b>負債・資本合計</b>	261	251	275

## 主要a/c 回転期間

	03 / 3	03 / 9	04 / 3	04 / 9	05 / 3
<b>売上債権回転期間</b>	6.2ヶ月	6.6ヶ月	7.1ヶ月	5.8ヶ月	5.8ヶ月
<b>たな卸資産回転期間</b>	5.9ヶ月	5.2ヶ月	3.3ヶ月	2.4ヶ月	2.8ヶ月
<b>支払債務回転期間</b>	3.1ヶ月	2.2ヶ月	3.3ヶ月	2.6ヶ月	3.1ヶ月

注) 回転期間分析は期末残高方式による

# 連結キャッシュ・フロー

(単位:億円)

	04 / 3	05 / 3	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	23.4	(注2) 41.1	17.7
投資活動によるキャッシュ・フロー	4.9	(注3) 5.6	10.4
財務活動によるキャッシュ・フロー	(注1) 24.0	(注4) 16.4	7.6
預金等期首残高	17.7	22.0	4.3
預金等期末残高	22.0	41.1	19.1

(注1)内 短期借入金 14.3億円 自己株式 9.7億円  
 (注2)内 税前利益 29.3億円 減価償却 5.7億円  
 (注3)内 関連会社出資 2.1億円 津上工販吸収 1.9億円  
 (注4)内 自己株式 14.5億円

# 連結財務主要指標 (期末残高ベース)

(単位:円)

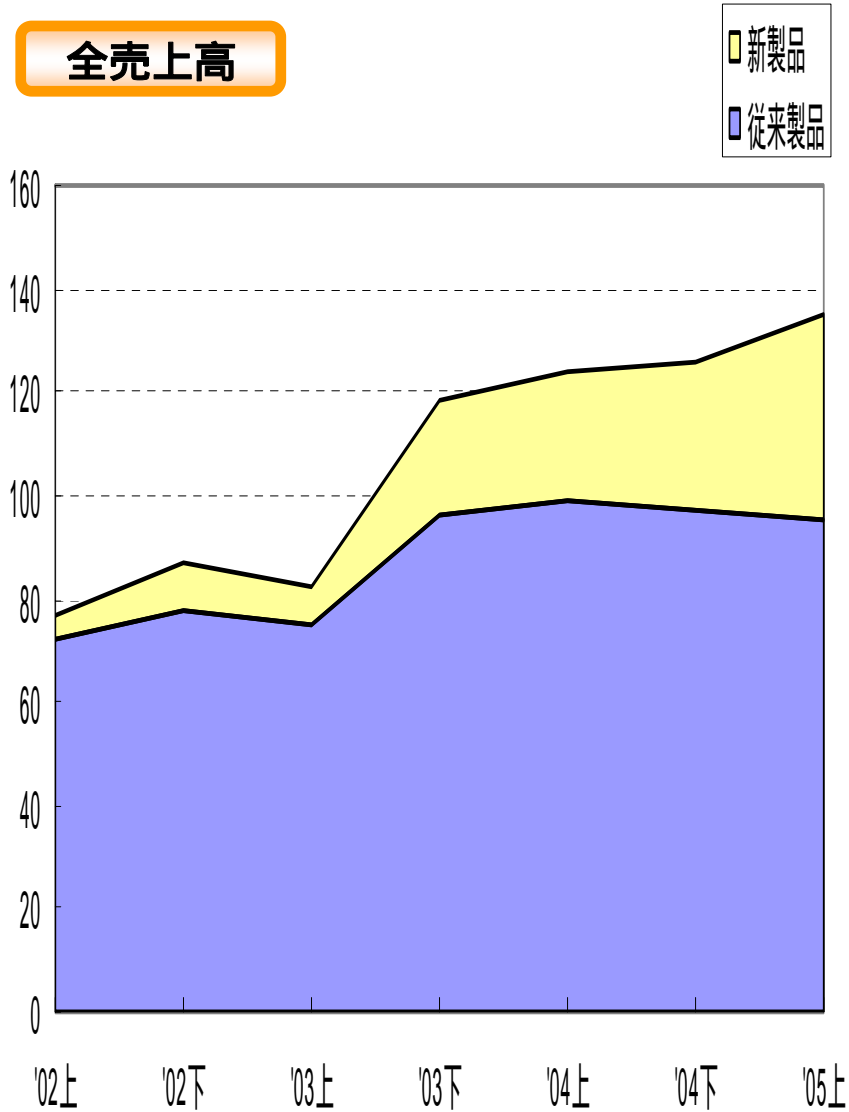
	03 / 3	04 / 3	05 / 3
一株当り当期純資産(BPS)	212.1	198.6	213.3
〃 除く自己株式	216.1	213.4	243.4
一株当り当期純利益(EPS)	10.1	10.3	31.5
〃 除く自己株式	10.3	11.1	35.9
自己資本比率	72.3%	70.6%	68.9%
総資本当期純利益率(ROA)	3.3%	3.6%	10.8%
株主資本当期純利益率(ROE)	4.6%	5.0%	15.5%

- 2005年3月期決算概要並びに今後の見通し
- **ツガミ・グループの今後の事業展開**

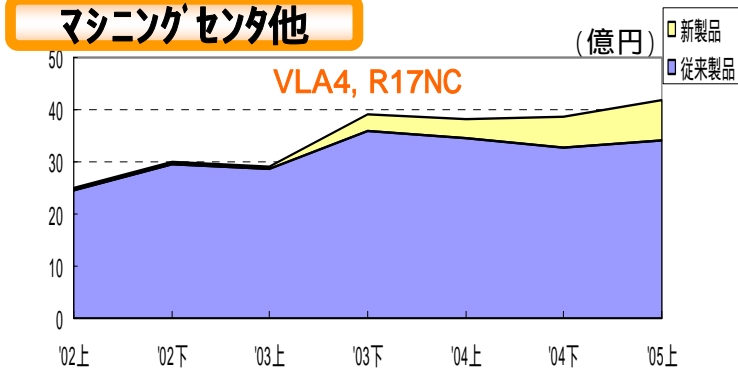
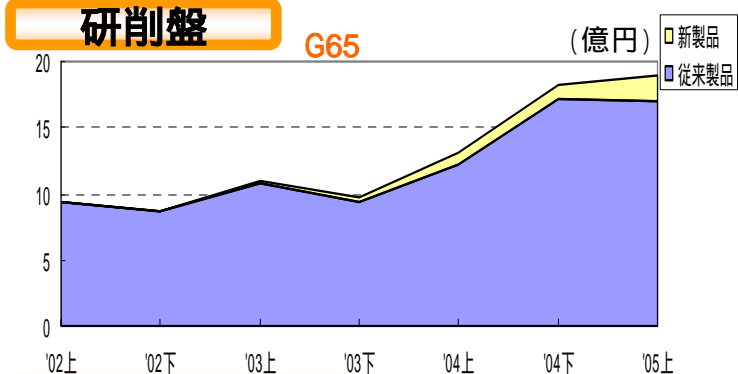
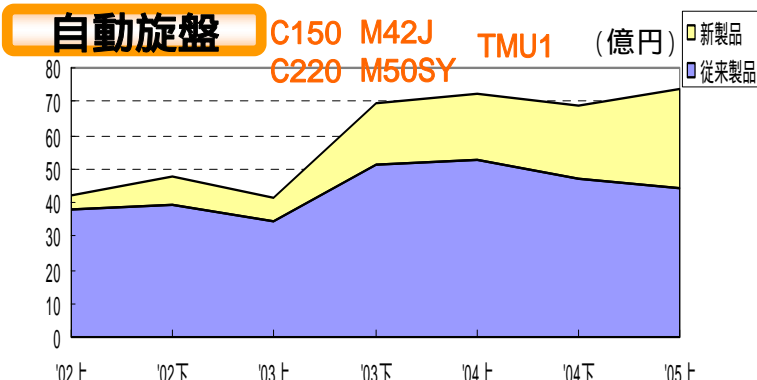
- 1．成長分野を狙った新製品の投入
- 2．成長地域に適合した市場戦略
- 3．高効率の生産体制の確立

# 製品中期売上予想

## 全売上高



## 新製品



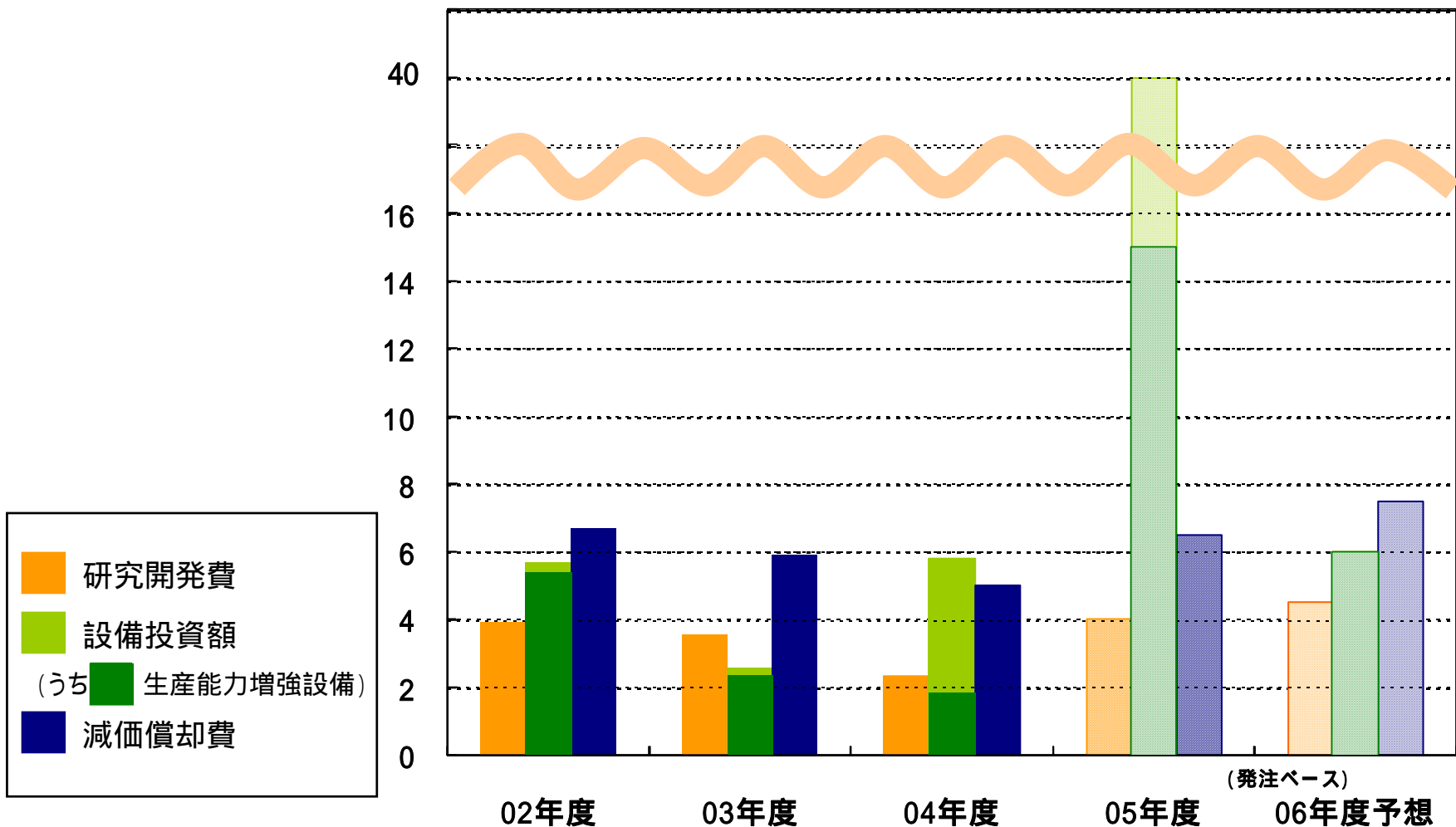
# 成長地域を狙った経営戦略

米国	<ul style="list-style-type: none"><li>• 販売促進活動強化中(拠点拡充、セールススタッフの増強)</li><li>• 現地代理店へ30%弱の資本参加(役員を派遣)</li><li>• 情報面も含め紐帯強化。</li></ul>
中国	<ul style="list-style-type: none"><li>• 現地代理店3社による販売。各社ともセールス・サービススタッフを増強。</li><li>• タレット旋盤等新製品の販売強化。</li></ul>
韓国	<ul style="list-style-type: none"><li>• 既存代理店に加え、有力代理店の選定等販売強化策を推進中。</li></ul>
タイ	<ul style="list-style-type: none"><li>• 現地法人のセールス・サービス機能強化(スタッフの増員、タレット旋盤等新製品の販売強化)</li></ul>
フィリピン・インド	<ul style="list-style-type: none"><li>• 既存代理店に加え、有力代理店の選定等販売強化策を推進中。</li></ul>



# 研究開発費と設備投資額

(億円)

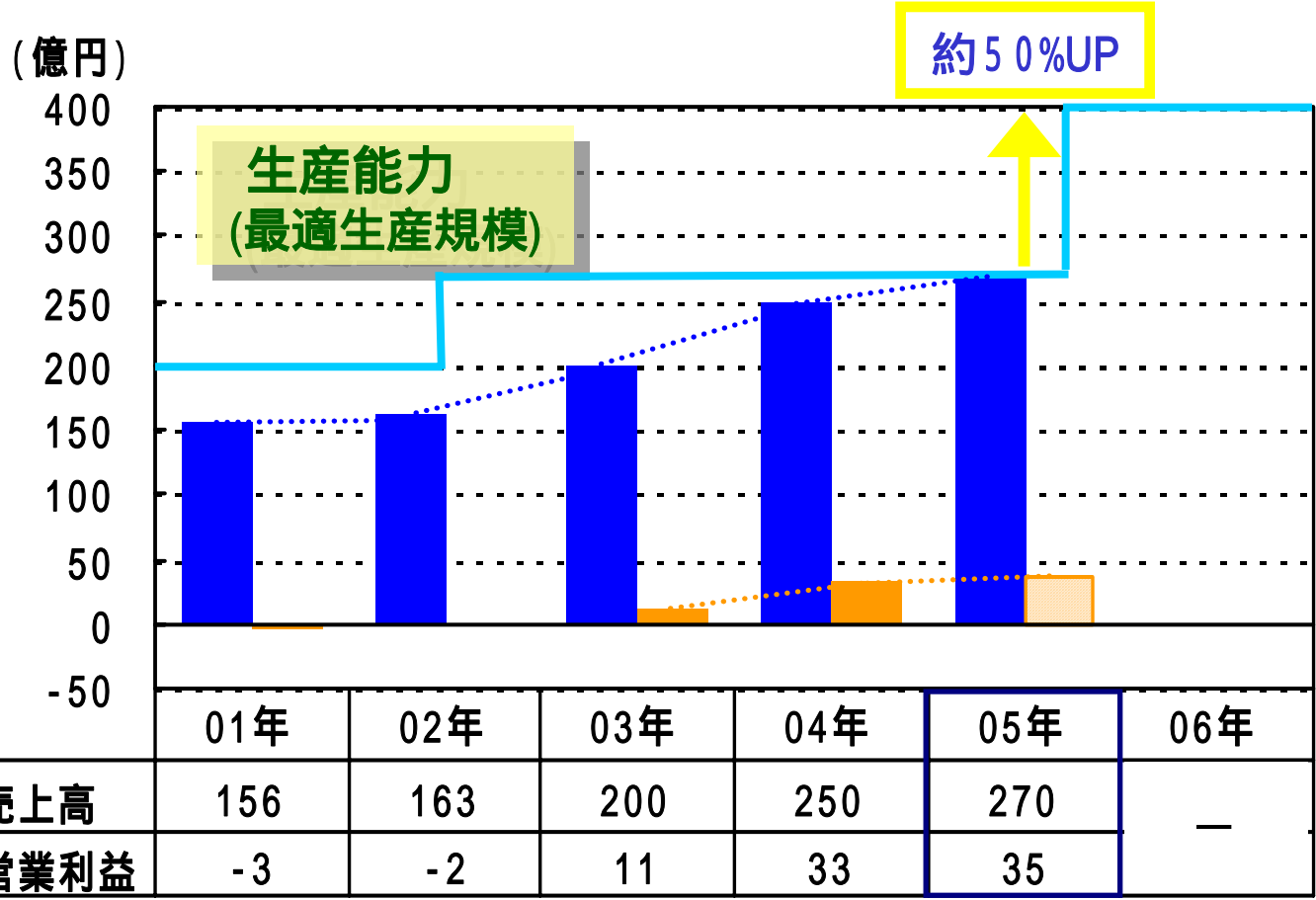


# 最適生産体制への設備投資

	新設備	投資金額	効果
長岡工場	新棟約5千坪 加工工場恒温化工事 能力増強設備	建屋 18.5億 機械設備 8.5億	生産出荷能力50%UP レイアウト変更による生産・物流効率UP 高精度部品内製化率100%展望
高見工場	組立工場恒温化工事他	0.5億	品質・生産効率UP マシニングセンタ生産能力50%UP
新潟工場	組立工場恒温化工事他	0.3億	品質・生産効率UP 自動旋盤生産能力倍増
信州工場	新棟約3千坪 能力増強設備 板金部品の一貫生産ライン構築	建屋 6.5億 機械設備 2.0億	生産部門レイアウト改善による生産・物流 効率UP 自動旋盤用周辺機器納期短縮 他
中国工場 第 期工事	新棟約1千坪 能力増強設備	建屋 1.5億 機械設備 2.0億	中国工場内主要部品内製化率UP 鋳物調達～機械加工～塗装仕上 一貫ライン

設備投資額 計 約 40億円  
(内機械設備投資額 約 13億円)

# 最適生産規模



# 注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

## TSUGAMI CORPORATION